

こんにちは 市民病院です

大腸内視鏡検査の ご紹介

飛騨市民病院 手術室

2020年6月に厚生労働省が「令和元年(2019)人口動態統計月報年計(概数)の結果」を公表しました。

2019年の死因は、第1位「悪性新生物(がん)」第2位「心疾患(高血圧症を除く)」第3位「老衰」でした。更に部位別に悪性新生物(がん)の死亡率をみると男女問わず全体で第1位肺がん、第2位大腸がん、第3位胃がんとなっています。

「自分はがんにならない」「具合が悪くなったら病院にかかるから大

丈夫」と思っていないませんか？

近年食生活の欧米化により日本人も大腸がんの罹患率が急増しています。早期は症状がない場合が多く、発見が遅れる場合があります。そのため症状がなくても定期的な大腸内視鏡検査を受けることが重要です。

ここで当院での大腸内視鏡検査についてご紹介します。大腸内視鏡検査は、内視鏡カメラを肛門から挿入して大腸の内側を観察します。これによりポリープやがん、出血、炎症などをテレビ画面で観察し診断できます。また、組織を採取し顕微鏡検査することで細胞を詳しく調べることができます。

大腸カメラはつらい！というイメージを持っている方が多いですが、経験豊富な医師による検査なので安心して受けることができます。

検査日が決まると検査の受け方について看護師より詳しく説明を受け

ます。パンフレットには検査前日、検査当日に行う処置などが詳しく書かれており、自宅でゆっくり読むことができ安心して検査に臨めます。

検査の待合室は個室となっています。音楽が流れておりリラックスできます。また、検査終了後は、医師が検査画像をお見せしながら分かりやすくご説明します。その後、ジュースを飲みながら20分程休んでいただき帰宅となります。

大腸内視鏡検査について分からないことや知りたいことなどお気軽にご相談ください。



問 飛騨市民病院

☎ 0578-82-1150

飛騨の 薬草を学ぶ 教養講座

みんなで活かして
楽しい毎日！



ユリネ

先日手に入った珍しい食材としてユリネをお伝えします。

ユリネは茶碗蒸しに入っているイメージで、子どもの頃は苦味や不思議な食感がどうも苦手でした。そのため、正月のおせち料理に入っているのが実情でした。ところがその効果を知った途端に食べたくなるからなんともゲンキンなものです。

ユリネは百合の球根部分で、生薬名では百合または百合根。そのままの漢字ですね。読み方はハクゴウ

です。食用に適した百合以外だと体に害がある場合もあるので、庭や畑に百合があるからと食べることはせず、確実に食用、薬用として販売されているものを使うようにしてください。

ユリネは収穫するのに数年かかるとも言われ、とても手間がかかる貴重な食材です。それだけじっくり時間をかけて育てただけあって栄養価も高く、効能もうれしいものです。

タンパク質が多いので滋養強壮効果や、カリウムなどミネラル分も多いので代謝もあげてくれます。また、期待できる効能としては、村上先生もよく話された「神農本草経」によると、鎮咳、去痰、気管支炎、結核など肺に関係する働きや、イライラや不眠、更年期障害など気持ちを落ち着かせる働き、利尿などがあります。

改めて食べてみるとジャガイモに

似た食感があり、甘くて美味しく食べられました。それ単独ではたくさん量を食べられませんでした。シチューなどスープ系だとじっくり煮込むことで柔らかくなる、または溶けてしまうので意識せずに量を食べることができました。

フキノトウがフキに変わり、いよいよ薬草シーズンが本格的に始まります。たくさん野山を歩いて、薬草を採取して体に取り入れましょう。



参考：神農本草経

問 地域振興課

☎ 0577-62-8904